

建設関連業の将来の役割と方向性

1. 建設コンサルタント経営者の声
2. 関係団体・委員へのヒアリング結果
3. 建設関連事業の全体像

1. 建設コンサルタントの経営者の声

建設コンサルタントの果たすべき役割

- ・どのような変化が起こってもきちんとした品質とサービスを提供すること
- ・公共事業の効果・必要性のPR
- ・発注者が抱えている課題に対する解決策の提案
- ・安全・安心な生活基盤の実現や気候変動、温暖化への対応

目指す企業像

- ・将来を見据え、自ら市場を創造するという意識を持つ企業
- ・社員であることに誇りを持ち続けられる会社
- ・社会からゆるぎない信頼を受け続ける会社
- ・持続可能な未来社会の実現に挑戦し続ける会社
- ・優秀な若者が集う”魅力ある産業”

今後の方向性

技術力向上

- ・優位性を持つ技術分野における技術力のさらなる向上
- ・将来のニーズの的確な把握による技術力の向上
- ・つくる技術からマネジメントする技術への転換
- ・社内の専任照査制度の強化・充実

人材育成

- ・総合的な技術力のある人材の育成
- ・行動的な意識を持つ社員の育成
- ・維持管理時代を見据えたアセットマネジメント分野への人材シフト
- ・国内と海外の技術者の弾力的な連携
- ・若い社員が海外に出る機会の増加
- ・プロジェクト・マネジャー育成による海外での事業領域の拡充

関連業界紙(建設工業新聞他)記事より各社ご意見の抜粋

新規市場の開拓

- ・特許技術を活用した新事業の展開
- ・ビジネスモデルの提案(環境、情報、計画、防災、保全など)
- ・維持管理時代を見据えたインフラ・マネジメントの推進

海外事業展開

- ・ノンODAによる海外展開(現地政府や企業とのダイレクトな事業推進)
- ・海外市場での高品質なサービスの提供
- ・エネルギー関連や水資源開発関連での技術力の発揮

営業体制の改革

- ・増加するプロポーザル方式に対応するための組織・支援体制の強化
- ・品質を落とさずコストを抑える努力の徹底
- ・自らが事業を提案する案件創出型営業への転換による営業基盤の強化

2. 関係団体・委員へのヒアリング結果

夢のある姿、将来像

“次世代測量「ジオ・サーバイコンサルタント」”

- ・従来の測量技術を基礎とし、IT、新観測技術を駆使して4次元の地理空間の観測と位置情報をもった観測データの解析、加工及び予測をすることを通して、国民が快適で安全・安心に暮らせる地球環境と国土の保全に寄与する。
- ・地域のまちづくりコンサルタント
地域の地理情報(地理、歴史)の蓄積を武器に環境にやさしいまちづくり、安全・安心なまちづくりへの提言等を行う。

果たすべき役割

- ・国民の資産、地球環境と国土の保全を業とする(使命)
- ・環境にやさしいまちづくり、森づくりのお手伝い(環境貢献)
- ・まちの歴史・文化を記録し、まちの歴史・文化を守る(環境貢献)
- ・新しい4次元の地理空間社会の実現と新事業の創造(フロンティア)

若者へのメッセージ～学生に対して魅力ある業界、社員にとって働きがいのある業界へ～

- ・基本法を背景に4次元の地理空間社会に挑戦(将来性)
- ・ストック社会への挑戦(将来性)
- ・ITと新観測技術による高付加価値産業へ転換(収益性)

夢のある姿、将来像

魅力と展望のある知的産業として発展

- ・21世紀の社会資本の整備・活用をリードする
- ・多様化する役割と拡大する領域を担う
- ・技術を磨き技術を競うとともに優秀な技術者が活躍する

果たすべき役割

- ・いままでの専門知識をさらに深化させるとともに周辺技術との複合化をより強化し、国土マネジメント、ライフサイクルマネジメント、事業執行マネジメントにおいて発注者を支援し、あるいは発注者に代わってその役割を担う。
- ・活躍する領域は、マネジメント業務、維持・修繕業務、スーパーソフト業務等を踏まえて民間資金導入型公共事業の市場、海外市場およびエネルギー・教育・福祉等の周辺市場へと今後ますます拡大していく。

若者へのメッセージ～学生に対して魅力ある業界、社員にとって働きがいのある業界へ～

- ・子孫に誇れる美しく豊かな国土を実現するために貢献する。
- ・建設コンサルタントは、時代を先取りし、21世紀の社会資本整備に必要なコンサルタント技術である高い創造性、構想力、多様性、意欲、表現力等を持つ技術者の確保と育成を図ることにより、優秀な技術者が明るく伸び伸びと活躍して自己実現を果たし、その成果が企業内はもちろん発注者と社会に評価される知的産業になる。

夢のある姿、将来像

実理と学理を兼ね備えた「ジオ・ドクター」「地盤コンサルタント」

- ・計画・調査から設計・施工・維持管理まで各段階に潜んでいる地質・地盤の問題に対し、よりきめ細やかな地質情報の提供や高度な解析・判定・提案までの高い専門技術を有する「地盤コンサルタント」 ジオ・ドクター

果たすべき役割

- ・災害の多い日本の地盤を理学的に追求しながら、工学的に捉えていく。
- ・高度経済成長期における経済戦争に勝つための公共工事から、生活のレベルの向上という本来のシビル・エンジニアリングが求められている。
- ・全国一律のマニュアル的ではない、地域ごとの特性や状況を活かしたコンサルタントを行っていく必要がある。
- ・業界自らあるいは第三者機関のもとで「業の品質確保」を行っていくべきである。

若者へのメッセージ～学生に対して魅力ある業界、社員にとって働きがいのある業界へ～

- ・”自らの専門を活かしつつ社会の役に立ちたい”という今の学生の思いを活かしていく。
- ・自然をよく理解したいという国民の思いに応えていきたい。

将来の方向性

- ・従来の建設から少し離れて、国土全体をマネジメントするという意識を持つ必要がある。
- ・建設コンサルタントは知的サービス業として発注者に奉仕する産業であることから、何かを作り上げて終わりではなく、相手の立場に立って徹底的に知恵・創意工夫を提供する必要がある。

人材の確保・育成

- ・人材確保・育成についてのアピールは、採用時よりも入社後にインセンティブを与える方が効果的で、たとえ小さな企業であっても、入社後の教育・育成に力を入れているところは業績も伸びている。
- ・土木系の学生の就職先として、建設業に比べて建コンの位置付けが十分に理解されていない。

技術力の確保・向上について

- ・現場の技術の継承、生産システムの確立は、業界が努力して行っていくべきである。

業界の全体像

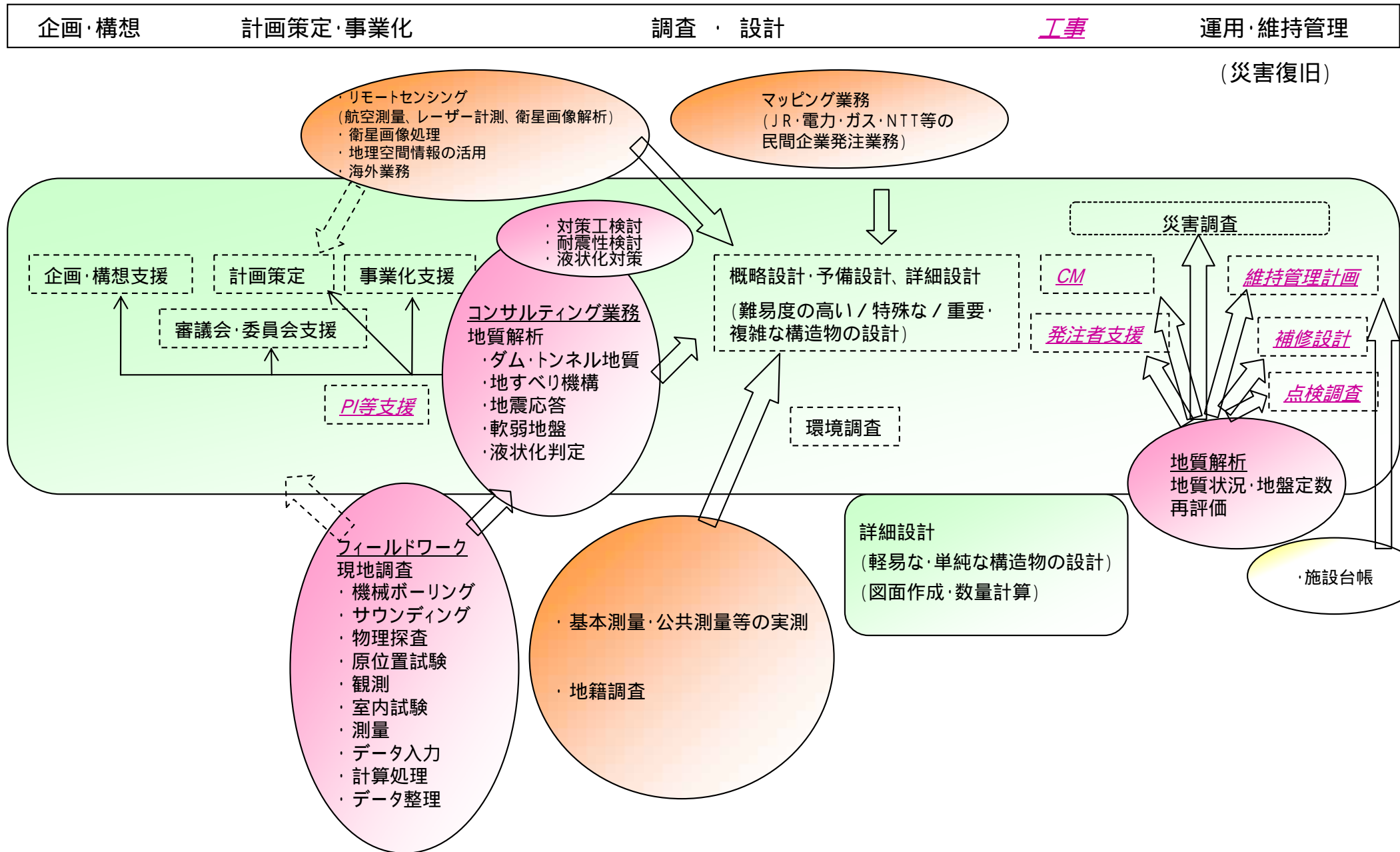
- ・高度なコンサルティングを必要とするものと基本技術ができるものの2階建ての政策が必要ではないか。
- ・実務技術者の議論がないまま現在に至っているのではないか。

3 . 建設関連事業の全体像

建設関連事業の全体像

特殊な技術
技能を要する業務

定型的な業務



企画・構想 計画策定・事業化 調査・設計 工事 運用・維持管理

